

平成27年第1回
掛川市・袋井市病院企業団議会定例会
会議録

掛川市・袋井市病院企業団

平成27年第1回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会
付議事件及び審議結果

○提出議案

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日	議決内容
議案第1号	平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算（第1号）について	27.2.19	27.2.19	原案可決
議案第2号	平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について	〃	〃	原案可決

平成27年第1回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会会議録

- 議事日程 平成27年2月19日(木) 午後4時20分 開会
- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第1号 平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)
について
- 日程第4 議案第2号 平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について

○本日の会議に付した事件 議事日程に上げた事件と同じ

○出席議員(10名)

1番	大石 與志登	2番	草賀 章吉
3番	鈴木 正治	4番	竹嶋 善彦
5番	堀内 武治	6番	岡本 幹男
7番	高木 清隆	8番	戸塚 文彦
9番	秋田 稔	10番	大庭 通嘉

○説明のため出席した者

監査委員	横山茂明	監査委員	原田達功
企業長	名倉英一		
副院長	蟹本雄右	副院長	山本洋子
副院長	市橋鋭一	副院長	若井正一
副院長兼看護部長	青木春美	薬剤部長	澤口和代
経営管理部長	中山富夫	経営管理部参与	川隅庄一
経営戦略室長	高柳泉	管理課長	石野敏也
医事課長	城内優		

議 事

午後 4 時 2 0 分 開会

○議長（大石與志登） 本日の出席議員は、10名であります。所定の定足数に達しておりますので、これより平成27年第1回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を開会いたします。

○議長（大石與志登） なお、議事日程につきましては、議長において作成し、お手元に配布した議事日程のとおりであります。これより会議を開きます。

○議長（大石與志登） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、3番鈴木正治君、6番岡本幹男君を指名いたします。

○議長（大石與志登） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は、本日1日限りといたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日限りと決定いたしました。

○議長（大石與志登） 日程第3、議案第1号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま上程されました、議案第1号、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号について、ご説明申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が2億4,100万円余の増額、支出が5億3,200万円余の増額をお願いするもので、補正後は支出が収入を12億5,300万円上回る収支予算となるものでございます。

収入の主なものといたしましては、入院収益が1億4,100万円余の増額、外来収益が9,900万円余の増額をするものでございます。支出の主なものといたしましては、給与費が2億900万円余の増額、医薬品などの材料費が3億400万円余の増額、燃料費などの経費が7,400万円余の減額、前年度繰入金の前払金として、特別損失が6,500万円余の増額をするものでございます。

資本的収支につきましては、収入が20万円余の増額、支出が2,400万円余の減額をお願いするもので、補正後の収支不足額6億200万円余は過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものでございます。主なものは、医療機器等の資産購入費を2,424万円減額するものでございます。

以上、議案第1号の提案説明とさせていただきます。詳細につきましては、経営管理部長より補足説明をさせていただきますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（大石與志登） 次に、補足説明を求めます。経営管理部長、中山富夫君。

○経営管理部長（中山富夫） それでは、私から議案第1号、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号について、説明を申し上げます。

予算書の1ページをご覧ください。第2条の業務の予定量であります、入院患者数を年間154,030人として、一日平均422人、外来患者数を年間300,608人として、一日平均1,232人と補正見込みを行い、入院患者と合わせた年間延患者数を454,638人としたものでございます。

次に、第3条の収益的収入及び支出であります、収入につきましては、病院事業収益の中の医業収益の部分で、2億4,141万6,000円増額いたしまして、136億8,076万4,000円とするものでございます。支出につきましては、病院事業費用全体で5億3,251万円増額いたしまして、158億4,551万円とするものでございます。内訳は、医業費用を4億3,281万9,000円増額し、151億3,865万1,000円に、医業外費用を3,373万8,000円増額し、6億383万9,000円に、そして特別損失を6,595万3,000円増額し、9,802万円とするものでございます。

次に、第4条の資本的収入及び支出であります、収入につきましては、資本的収入は、28万7,000円増額いたしまして、10億3,919万5,000円とするものでございます。内訳は、貸付資金返還金で、同額の28万7,000円増額し、28万8,000円とするものでございます。

めくっていただきまして、2ページをお開きください。支出につきましては、資本的支出は、2,424万円減額いたしまして、16億4,123万円とするものでございます。内訳は、建設改良費で、同額の2,424万円を減額し、3億8,164万円とするものでございます。

第5条の債務負担行為につきましては、追加の部といたしまして、平成27年度の救命救急セン

ター指定に向けた改修工事の施工及び医療機器等の購入に伴い、平成27年度にかけて新たに債務負担をお願いするものでございます。

第6条は、予定支出の各項の経費の金額の流用について、それから第7条は、たな卸資産購入限度額について、それぞれ改めるものでございます。

右側のページ、3ページ、4ページでは、補正予算第1号の実施計画、そして5ページ以降には、予定キャッシュ・フロー計算書、給与費明細書、債務負担行為に関する調書を、それぞれお示ししておりますので、ご覧いただけたらと存じます。

少し飛びまして、11ページ、12ページをお開きください。平成27年3月31日現在の予定貸借対照表であります。平成26年度の決算見込をもとに資産、負債、資本の状況を示しております。主な変更点であります。左ページの固定資産のうち、1の(1)のエ、器械備品につきましては、資産購入費を減額したことにより器械備品の取得額が減少し、帳簿価格が45億7,838万8,696円となるものでございます。流動資産のうち、貯蔵品については、薬品や診療材料等の在庫数が減少し、1億6,728万9,871円とするものでございます。

右の12ページ、3の固定負債のうち(4)のア、退職給付引当金につきまして、年度末要引当額が増加し、3億4,737万3,744円に、4の流動負債の(5)のア、賞与引当金が3億8,513万9,000円に、イの法定福利費引当金が6,414万7,000円となるものでございます。また、下段の剰余金につきましては、欠損金の増により、24億4,601万607円となるものでございます。

資本合計は、12億5,502万8,977円のマイナスとなっており、資産合計及び負債資本合計は、22億3,613万4,010円となるものであります。

次に、14ページ、15ページの、補正予算第1号事項別明細書をご覧ください。まず、収益的収入であります。1款1項の医業収益は、2億4,141万6,000円増額し、136億8,076万4,000円とするものであります。1目の入院収益は、先に申し上げたとおり、一日当たりの平均患者数を422人、年間延患者数を15万4,030人、一人一日当たりの診療収入を5万9,000円と見込み、1億4,162万円増額するものでございます。2目の外来収益につきましても、一日当たりの平均患者数を1,232人、年間延患者数を30万608人、一人一日当たりの診療収入を1万2,000円と見込み、9,979万6,000円を増額し、36億729万6,000円とするものであります。

次に、16ページ、17ページをご覧ください。収益的支出であります。1款1項の医業費用は、4億3,281万9,000円増額し、151億3,865万1,000円とするものであります。1目の給与費は、職員数の増や給料改定等の所要費用を見込み2億944万5,000円増額して78億9,900万1,000円としたものであります。2目の材料費は、薬品費や診療材料費の本年度の購入実績から、3億463万5,000

円増額し、30億3,965万3,000円といたしました。3目の経費につきましては、燃料費や光熱水費の使用効率の見直し等による抑制効果により、7,478万9,000円減額するものでございます。また、6目の研究研修費につきましては、研修受講者の減等により647万2,000円減額し、6,724万4,000円とするものでございます。

18ページ、19ページをお開きください。2項医業外費用は、3,373万8,000円増額し、6億383万9,000円とするもので、そのうち9目の雑損失につきましては、たな卸資産購入限度額の増額による控除対象外消費税額の増加に伴い、3,750万8,000円を増額し、2億2,881万1,000円とするものでございます。また、3項の特別損失につきましては、前年度の両市からの繰入金を精算するため、6,595万3,000円を増額し、9,802万円といたしました。

20ページ、21ページをお願いいたします。資本的収入であります。1款3項1目の貸付資金返還金につきましては、修学資金の返還が発生したことにより、28万7,000円増額し、28万8,000円とするものであります。下の資本的支出であります。1款1項の建設改良費の1目の資産購入費につきましては、本年度の機械備品の購入実績により、2,424万円減額し、3億3,838万円とするものでございます。

以上、平成26年度病院事業会計補正予算第1号の説明とさせていただきます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大石與志登） 以上で説明が終わりました。

○議長（大石與志登） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

【「なし」との声あり】

○議長（大石與志登） 質疑はないようですので、これにて質疑を終結いたします。

○議長（大石與志登） これより討論に入ります。討論はありますか。

【「なし」との声あり】

○議長（大石與志登） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（大石與志登） これより議案第1号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決することに決しました。

○議長（大石與志登） 日程第4、議案第2号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま上程されました、議案第2号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算について、ご説明申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が149億1,500万円余、支出が159億6,300万円余で、平成26年度の実績を踏まえ計上したものでありまして、支出が収入を10億4,700万円余上回る収支予算となるものでございます。収入の主なものといたしましては、入院収益が93億6,400万円余、外来収益が35億8,600万円余、両市からの繰入金が9億2,100万円余でございます。支出の主なものは、給与費が79億1,000万円余、医薬品などの材料費が30億5,600万円余、光熱水費や委託料などの経費が26億1,100万円余、建物や器械備品等の減価償却費が16億9,700万円余でございます。

資本的収支につきましては、収入が10億3,000万円余、支出が17億400万円余で、この収入の不足額6億7,400万円余は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんをいたします。収入の主なものは、建設改良費に充当する企業債が2億2,500万円、両市からの出資金が8億400万円余でございます。支出の主なものは、病院機能の向上を図るための施設改良費及び資産購入費が3億5,100万円余、企業債の元金償還金が12億4,600万円余でございます。

以上、議案第2号の提案説明とさせていただきます。詳細につきましては、経営管理部長より補足説明させていただきますので、よろしくご審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（大石與志登） 次に、補足説明を求めます。経営管理部長、中山富夫君。

○経営管理部長（中山富夫） それでは、議案第2号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計予算につきまして、説明を申し上げます。

予算書の1ページをお願いいたします。第2条の業務の予定量であります。患者数につきましては、入院患者数を年間15万7,380人、一日平均430人、外来患者数を年間29万8,890人、一日平均1,230人と見込みました。また、主要な建設改良事業につきましては、施設改良事業として7,500万円、医療機器等整備事業として2億7,635万1,000円と見込んだものでございます。

第3条であります。当該事業年度の経営に伴う収益と費用を計上した収益的収支について定めるものでありまして、病院事業収益を149億1,586万5,000円、病院事業費用を159億6,308万円といたしました。病院建設に係る施設や医療機器等の減価償却費が多額であることなどから、費用が収益を10億4,721万5,000円上回る収支予算となるものでございます。

第4条は、資本的収支について定めるものでありまして、収入を10億3,008万2,000円、支出を17億445万円といたしました。この収入額が支出額に対して不足する額につきましては、過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものでございます。

2ページ、3ページの第5条につきましては、医療機器保守委託料等の債務負担行為11件について、右側の第6条は、企業債について、第7条は、一時借入金の限度額を15億円にすること、第8条では、予定支出の各項の経費の金額の流用について定め、第9条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費についてでございます。第10条は、たな卸資産購入限度額について定めるものでございまして、32億4,162万8,000円といたしました。第11条の重要な資産の取得につきましては、取得する資産のうち2,000万円以上のものでありまして、平成27年度は手術用ナビゲーションシステム及び検診用乳房撮影装置を新たに購入するものでございます。

続きまして、5ページ、6ページに予算実施計画書、そして7ページ以降には、キャッシュ・フロー計算書、給与費明細書、債務負担行為に関する調書を、それぞれお示ししておりますので、ご覧をいただきたいと存じます。

14ページ、15ページをお願いいたします。平成28年3月31日現在の予定貸借対照表でございます。14ページ資産の部1では、(1)有形固定資産につきまして、平成27年度中に購入した資産を追加するとともに、既存の固定資産の減価償却を行ったものでございます。(2)の投資の長期貸付につきましては、平成27年度の貸付金額を追加するとともに、返還分を減額いたしました。長期前払消費税につきましては、平成27年度の建設改良に係る控除対象外消費税を追加するとともに、前年度までの控除対象外消費税を定額償却したものでございます。2の流動資産では、未収金の貸倒引当金を新たに100万円計上いたしました。

右ページの15ページの負債の部では、3の固定負債及び4の流動負債につきまして、事業年度末日の翌日から起算して1年以内に支払が生じるものにつきまして4の流動負債に、1年を超えて支払が生じるものにつきましては3の固定負債に区分しております。なお、平成27年度末には一時的な資金不足により10億8,000万円の一時借入を行う見込みとなっております。5の繰延収益につきましては、資産の取得に係る補助金を当該資産の減価償却方法と同様に、毎事業年度償却し収益化するもので、資産の部に対して負債の部に計上するものでございます。

資本の部では、6の資本金につきまして、企業債の元金償還金額の2分の1の金額、8億481万8,000円を掛川市及び袋井市からの出資金として繰り入れることにより、増額するものでございます。7の剰余金につきまして、当年度欠損金が10億5,647万4,726円の見込みであることから、当年度未処理欠損金が、前年度からの分と合わせて35億248万5,333円となったものでございます。最下段、資産合計及び負債資本合計につきましては、それぞれ、前事業年度末に比べ12億4,418万209円少ない、211億4,195万3,801円を見込ませていただきました。

次に、16ページをご覧ください。平成26年度の予定損益計算書でございます。中段やや上の医業損失が右側にありますように、13億4,890万8,532円、下段の経常損失が11億6,505万3,159円、当年度純損失を12億6,307万2,159円としたものでございます。

次に、少しページをめくっていただきまして、22ページ、23ページの事項別明細書をお願いいたします。まず、22ページ収益的収入であります。1款1項の医業収益は、前年度より5億4,376万9,000円増の139億8,311万7,000円でございます。1目の入院収益は、冒頭に申し上げたとおり一日当たりの平均患者数を430人、年間延患者数を15万7,380人と見込み、93億6,411万円とするものであります。2目の外来収益につきましても、先に申し上げたとおり一日平均患者数を1,230人、年間延べ患者数を29万8,890人と見込み、35億8,668万円とするものでございます。3目のその他医業収益は、室料差額の収益や婦人科検診・予防接種などの公衆衛生活動収益、人間ドック収益等でございます。4目の他会計負担金につきましては、掛川市及び袋井市からの負担金でありまして、地方公営企業法に定める繰出基準に基づく繰入金のうち、救急医療の確保に要する経費と保健衛生行政事務に要する経費といたしまして、1億8,192万2,000円を計上するものであります。

2項の医業外収益の主なもの、3目負担金交付金でありまして、掛川市及び袋井市からの負担金でございます。こちらは、繰出基準に基づく繰入金のうち、建設改良や高度医療に要する経費と、基準外繰入といたしまして、旧市立病院職員に係る退職給付引当金とを合わせて7億3,937万円を計上するものであります。

次に、24ページ、25ページをお願いいたします。収益的支出であります。1款1項の医業費

用は、前年度より6億5,625万8,000円増の153億6,209万円を見込んでおります。1目の給与費は、79億1,026万1,000円を計上し、2目材料費では、薬品費、診療材料費等の30億5,645万9,000円を見込みました。3目の経費につきましては、全体で26億1,139万3,000円でありまして、主なものは、7節光熱水費2億4,446万3,000円、めくっていただきまして次のページになりますが、13節の賃借料2億7,962万4,000円、15節の委託料の14億2,860万9,000円でございます。4目の減価償却費は16億9,727万5,000円で、平成26年度までに取得した建物、器械備品等をそれぞれ耐用年数に応じて償却するものでございます。

次に、28ページ、29ページをお願いいたします。2項の医業外費用につきましては、全体で5億9,598万9,000円と見込みました。主なものは、1目にあります病院建設事業に係る企業債償還利子でございます。

次に、30ページ、31ページをご覧ください。資本的収入につきましては、10億3,008万2,000円ですが、主なものは、施設改良費等に充てる企業債2億2,500万円でございます。また、出資金といたしまして、建設改良に要する経費の一部8億481万8,000円を、掛川市及び袋井市から繰り入れるものでございます。資本的支出につきましては、17億445万円でありまして、主なものは、施設改良事業及び医療機器等整備事業でございます。2項の企業債償還金につきましては、12億4,602万9,000円ですが、平成24年度から平成25年度に借り入れた企業債の元金償還金でございます。

以上、平成27年度病院事業会計予算の補足説明とさせていただきます。今後とも、中東遠地域の基幹病院として、その機能を十分に発揮し、地域の皆さまに質の高い医療を継続的に提供できるよう、職員一丸となって安定的な健全経営を目指してまいりたいと存じます。よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大石與志登） 以上で説明が終わりました。

○議長（大石與志登） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

【「なし」との声あり】

○議長（大石與志登） 質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（大石與志登） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（大石與志登） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（大石與志登） これより議案第2号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決することに決しました。

○議長（大石與志登） 以上で、本日の日程全部を終了いたしました。

○議長（大石與志登） 閉会にあたり、企業長よりごあいさつをお願いいたします。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） 本日は平成26年度の補正予算、平成27年度の予算とご審議をいただき大変ありがとうございました。お認めいただきましたので、特に補正についてはですね、この決定を受けて救命救急センターの準備に入りますので、大変ありがとうございます。

全員協議会の冒頭にも申し上げましたけれども、2年目を迎えているいろんなことが分かりました。新病院の状況というのも大体つかめるようになった。もちろんまだまだ改善すべき所はありますし、診療でも呼吸器とか泌尿器等スタッフが弱いところは残念ながら十分な診療ができません。これで無理をさせると辞めてしまいます。そうすると病院の破綻に繋がります。そういう状況ではありますけれども、スタッフ一同がんばって、平成26年度の見込みでいえば、前年度の磐田と同等の収益になりそうです。磐田も今年もっと上がると思いますけど。たった2年でここまで来たかと思います。ただ、診療の状態と収支はまた別でありますので、これについては、従前にいろいろ検討して予測したわけではありますが、現実を十分見て、それから今回全員協議会の席で、

5か年のシミュレーションを出しました。もう少し精査をしますが、以前はまったく現実感を欠いた数字でありましたけれども、2年の実績を踏まえた数値になりますので、将来的にこの事業が成功して、世の評価を得るためにも、私はここは少し見直すことが必要ではないかと思います。そのためには、もちろん私ども現場もがんばりますが、議員の先生もまたそれを支援していただいて、それから両市当局には私どもも丁寧に説明をしてご理解を得たいと思います。赤字が増えるといつかは精算しなくてはいけないので、一緒だと思いますけどね。それはともかくとして、今良い形で動いています。それが、より良い診療が提供ができる病院に発展するように、ぜひとも今後ともご理解とご支援をいただきたいと思います。本日はありがとうございました。

○議長（大石與志登）　ありがとうございました。

これにて、平成27年第1回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を閉会いたします。みなさまのご協力に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

午後4時56分　閉会

[署名]

以上、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 27 年 4 月 30 日

掛川市・袋井市病院企業団議会議長

大石 與志登

[署名議員]

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

鈴木 正治

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

岡本 幹男